

レジデント・フェローカリキュラム

(一例です。2年間コース、1年間コース、半年間コース、3か月コースもあり)

レジデント (3年間コース) カリキュラム

1年目；

肝臓

エコーの習得、上部消化管内視鏡 (胃カメラ) の習得、
経皮治療を上級医とともに行う (ラジオ波、PEIT)
血管塞栓術の適応、治療内容、肝臓の血流動態についてについて学ぶ、
高度進行肝癌の治療 (肝動注、分子標的薬の適応) について学ぶ
肝硬変の治療 (肝性脳症の治療、腹水コントロール、CART、栄養療法)
慢性肝炎の薬物治療 (経口抗ウイルス剤、インターフェロンなど)
食道静脈瘤治療の助手を務める

膵臓

ERCP

前期：処置の補助を行い、手順、処置具に精通する。
起こり得る合併症について理解する。
後期：操作を自分で行い胆膵管にカニュレーションし、造影できる。

EUS

前期：EUS画像に習熟し臓器、病変を同定できる。
後期：操作を自分で行い臓器、病変を描出できる。

EUS-FNA

処置の補助を行い、手順、処置具に精通する。
起こり得る合併症について理解する。

十二指腸ステント

処置の補助を行い、手順、処置具に精通する。
膵機能 (内、外分泌能) を理解し、疾患による全身への影響を考え診療
できる。
膵腫瘍、膵嚢胞性疾患の鑑別をあげられる。
指導医とともに膵癌の診断、抗がん剤治療、症状緩和治療、評価を行う。
指導医とともに膵神経内分泌腫瘍の診断、抗がん剤治療、分子標的治療、
症状緩和治療、評価を行う。

学会活動

消化器病学会地方会、内科学会地方会での発表を行う

2年目；

肝臓

エコー技術の向上、造影エコーなども含めて
経皮治療を上級医とともにやる（腹水注入ラジオ波など含めて）
放射線科医について血管塞栓術を学ぶ
高度進行肝臓の治療選択を適切に行えるようになる
CARTなどを適切に行う事が出来る
食道静脈瘤治療（EVL）を上級医とともにやる

ERCP

前期：胆膵管にカニューレションし、チューブステントの挿入、留置
ができる。合併症について適切処置ができる。
後期：ステント留置の適応判断ができる。EST および碎石術ができる。ENPD,ERPD
チューブ、メタリックステントの挿入、留置ができる。

EUS

描出困難例においても自分で臓器、病変を描出でき、診断を行うこと
ができる。

EUS-FNA

前期：血管、臓器を避け、穿刺ポイントに病変を描出できる。合併症
について適切に処置ができる。
後期：膵体部腫瘍等穿刺容易例にて穿刺ができる。

十二指腸ステント

狭窄部位、範囲の同定ができ安全にステントを留置できる。
膵腫瘍、膵嚢胞性疾患の鑑別をあげ、検査を計画できる。
膵癌の診断、抗がん剤治療、症状緩和治療、評価を自分で計画できる。
膵神経内分泌腫瘍の診断、抗がん剤治療、分子標的治療、症状緩和治療、

学会活動

消化器病学会地方会、内科学会地方会での発表を行い、症例報告を書く。

3年目；

肝臓

経皮治療が可能かどうか適切に判断できるようになる。
経皮治療を一人でも行えるようになる。
食道静脈瘤治療（EIS）を上級医とともにやる
高度進行肝臓治療の治療、評価、診断などを適切に行う

ERCP

前期：胃切除後など挿入困難例でもカニューレーションできる。内視鏡操作困難例でも EST が行える。

後期：ステント留置において狭窄部位、狭窄範囲を理解して適切な処置具、ステントを選択できる。碎石術において適切な処置具が選択でき碎石できる。

EUS

病変を正確、適切に描出でき診断が行える。

EUS-FNA

経十二指腸等、穿刺困難例にて病変を穿刺し診断できる。

十二指腸ステント

狭窄部位、範囲を理解し適切なステントの選択、留置ができる。

十二指腸乳頭部にステント留置を行う際に胆道ステント留置と組み合わせてステント留置ができる。

膵腫瘍、膵嚢胞性疾患の鑑別をあげ、適切に検査を計画および実行し診断治療が行える。

膵癌の診断、抗がん剤治療、症状緩和治療、評価を適切に行うことができる。

膵神経内分泌腫瘍の診断、抗がん剤治療、分子標的治療、症状緩和治療、評価を適切に行うことができる。

学会活動

新内科専門医の取得をめざす。

消化器病学会、膵臓学会、西部肝臓学会での発表を行い論文にまとめる

フェローカリキュラム (2年間コース)

1年目；

肝臓

経皮治療困難症例の治療を適切に行える

再発食道静脈瘤治療や食道静脈瘤破裂症例の治療を行う

ERCP

前期：起こり得る合併症について理解する。

操作を自分で行い胆膵管にカニューレーションし、造影できる。

後期：合併症について適切処置ができる。

EST および碎石術ができる。ステント留置の適応判断ができ、適切に ENPD, ERPD チューブ、メタリックステントの挿入、留置ができる。

EUS

前期：EUS 画像に習熟し臓器、病変を同定できる。

後期：操作を自分でを行い臓器、病変を描出できる。

EUS-FNA

前期：処置の補助を行い、手順、処置具に精通する。起こり得る合併症について理解する。

後期：血管、臓器を避け、穿刺ポイントに病変を描出できる。合併症について適切に処置ができる。膵体部腫瘤等穿刺容易例にて穿刺ができる。

十二指腸ステント

狭窄部位、範囲を理解し適切なステントの選択、留置ができる。

十二指腸乳頭部にステント留置を行う際に胆道ステント留置と組み合わせてステント留置ができる。

膵機能（内、外分泌能）を理解し、疾患による全身への影響を考え診療できる。

膵腫瘍、膵嚢胞性疾患の鑑別をあげ、適切に検査を計画および実行し診断治療が行える。

膵癌の診断、抗がん剤治療、症状緩和治療、評価を適切に行うことができる。

膵神経内分泌腫瘍の診断、抗がん剤治療、分子標的治療、症状緩和治療、評価を適切に行うことができる。

学会活動

消化器病学会専門医の取得を目指す

西部肝臓学会、肝がん研究会で発表を行い論文にまとめる

膵臓学会で発表を行い論文にまとめる

2年目； 肝臓病一般に対して診断から治療まで適切に判断し治療できる

膵腫瘍に対して診断から治療まで適切に判断し治療できる

JDDW,西部肝臓学会、肝がん研究会、膵臓学会で発表を行い論文にまとめる

肝臓専門医の取得（翌年）をめざす